野々市市 水害ハザードマップ

令和6年3月作成

- この野々市市水害ハザードマップは、市民の皆さんが水害から身を守るために日頃から役立てていただくことを目的として作成しています。
- *洪水* の浸水想定区域に加え、*内水氾濫* の浸水想定区域を確認できます。
- 台風や大雨に備えて、このハザードマップを活用し、身の回りの水害リスクとご自身や家族のとるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー　必ず取り組みましょう

あなたがとるべき避難行動は？

※ハザードマップは浸水等の被害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。
着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

↓

家がある場所に色が塗られていますか？
→ いいえ：色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地にお住いの方は、野々市市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

↓ はい

避難 とは *「難」* を *「避」* けること、つまり *安全を確保すること* です。
安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。

災害の危険があるので、原則として※安全な地域に避難が必要です！
→ 例外：※浸水の危険があっても
❶「家屋倒壊等氾濫想定区域」の外側である。
❷ 浸水する深さよりも高いところにいる。
❸ 浸水しても水がひくまで我慢できる、*水・食料などの備えが十分にある。*
以上の条件を満たす場合は、屋内安全確保（自宅にとどまり安全を確保すること）も可能です。

↓

家がある場所は **家屋倒壊等氾濫想定区域内ですか？** ご自身または一緒に避難する方は **避難に時間がかかりますか？**

- はい → 安全な場所にお住まいの身を寄せられる親戚や知人はいますか？
  - はい → **警戒レベル3 高齢者等避難**　安全な場所にある親戚や知人宅に避難！
  - いいえ → **警戒レベル3 高齢者等避難**　開設している避難所に避難！
- いいえ → 安全な場所にお住まいの身を寄せられる親戚や知人はいますか？
  - はい → **警戒レベル4 避難指示**　安全な場所にある親戚や知人宅に避難！
  - いいえ → **警戒レベル4 避難指示**　開設している避難所に避難！

あなたの避難のタイミングは？ 警戒レベル4までに必ず避難！

- *避難行動判定フロー* の結果を踏まえて避難のタイミングを考えておきましょう。
- 特に避難に時間のかかる方（高齢者や乳幼児等とその保護者）は時間に余裕をもって避難しましょう。
- ご自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内 にある場合は、*早めの立退き避難* が必要です。
- 国交省・県から出る河川水位や警報等の気象情報を参考に自主的に *早めの避難* をしましょう。

避難情報が出ていなくても 危険だと感じたら **自らの判断** で避難しましょう

警戒レベル	避難情報	市民がとるべき行動	避難先	警戒レベルに相当する気象庁等の情報 河川氾濫	大雨
5	緊急安全確保	**命の危険！直ちに安全確保！** すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。避難のため屋外に移動することはかえって危険です。	・自宅（2階以上） ・近隣の建物（2階以上）	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報
～～～	～～～	＜警戒レベル4までに必ず避難！＞	～～～	～～～	～～～
4	避難指示	**危険な場所から全員避難！** 避難のため移動することが困難な場合は、自宅や近隣の建物の2階に避難するなどしましょう。	・拠点避難所 ・安全な場所の親戚・知人宅	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報
3	高齢者等避難	**危険な場所から 高齢者等は避難！** 高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児等の避難に時間を要する人は避難してください。	・自主避難所 ・安全な場所の親戚・知人宅	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報
2		**避難の準備** 避難のタイミングと場所、経路を確認して、避難に備えましょう。		レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報
1		**災害情報に注意** テレビやラジオ、インターネット等の気象情報に注意しましょう。		早期注意情報	早期注意情報

川の様子を絶対に見にいかないこと！　川の様子は **『川の防災情報』** から知ることができます。

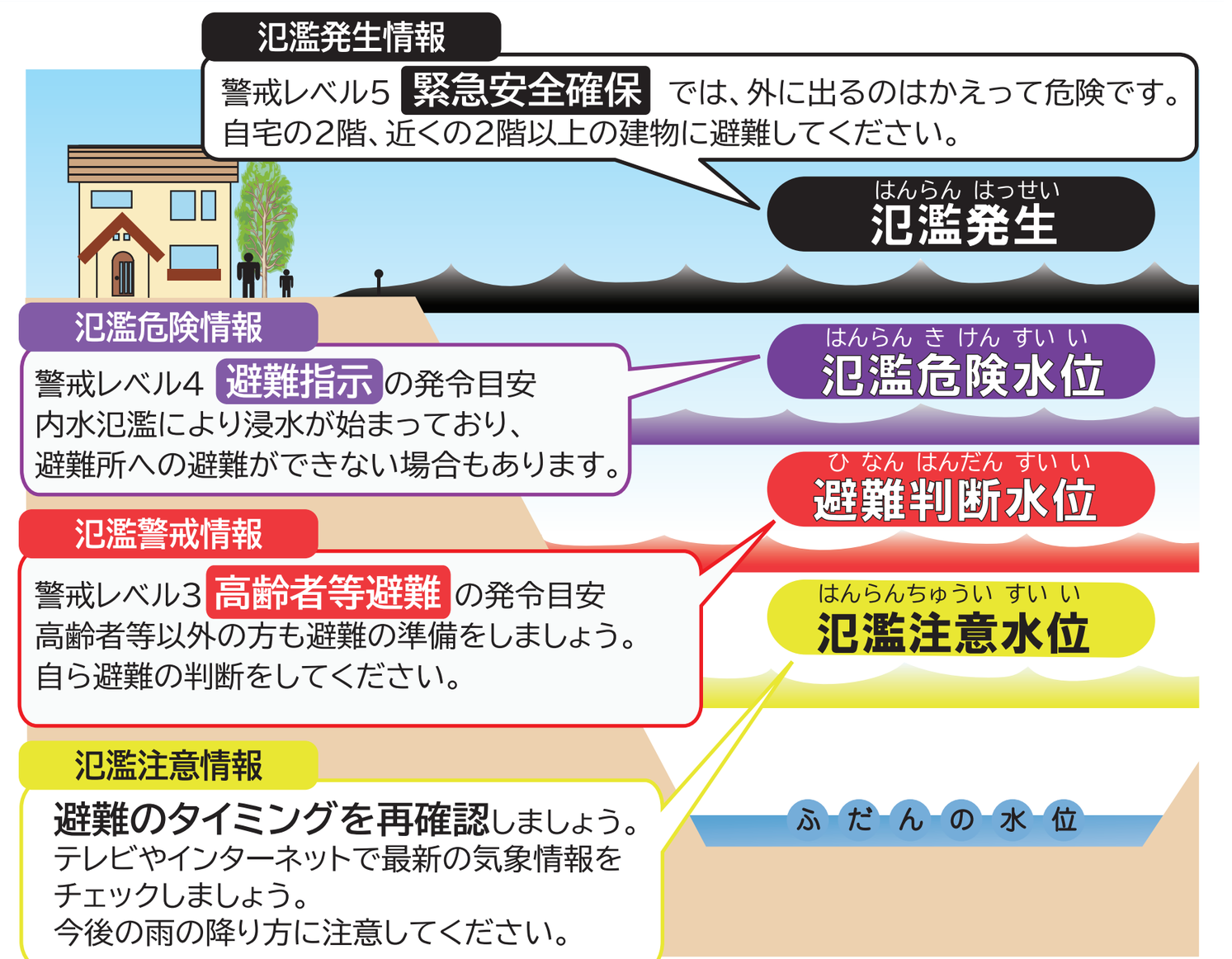
ここを確認！水位観測所・カメラ

河川名	水位観測所名称 / カメラ名称
手取川（てどりがわ）	鶴来（つるぎ） / 鶴来、鶴来観測所
高橋川（たかはしがわ）	四十万田橋（しじまだばし） / 県央土木 高橋川 四十万田橋
高橋川（たかはしがわ）	馬替（まがえ） / 県央土木 高橋川 馬替
安原川（やすはらがわ）	長池（ながいけ） / 石川土木 安原川 長池
伏見川（ふしみがわ）	米泉（よないずみ） / 県央土木 伏見川 米泉
木呂川（ころがわ）	木呂川（木呂川橋）（ころがわ（ころがわばし）） / 木呂川（木呂川橋）
碇川（いかりがわ）	碇川（額乙丸）（いかりがわ（ぬかおとまる）） / 碇川（額乙丸）

その他野々市市設置のライブカメラ（YouTube配信）

国土交通省『川の防災情報』　野々市市カメラホームページ

警戒レベルに相当する川の情報



災害につながる気象情報 避難のきっかけとなる情報

- 災害につながるような大雨の情報を避難の準備・判断に役立ててください。
- 避難のきっかけとなる気象情報を決めておきましょう。

これが出たら災害発生の可能性が高い!!

記録的短時間大雨情報（きろくてきたんじかんおおあめじょうほう）

土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような、*まれにしか観測しない雨量* であることを知らせる情報です。

顕著な大雨に関する気象情報（けんちょなおおあめにかんするきしょうじょうほう）

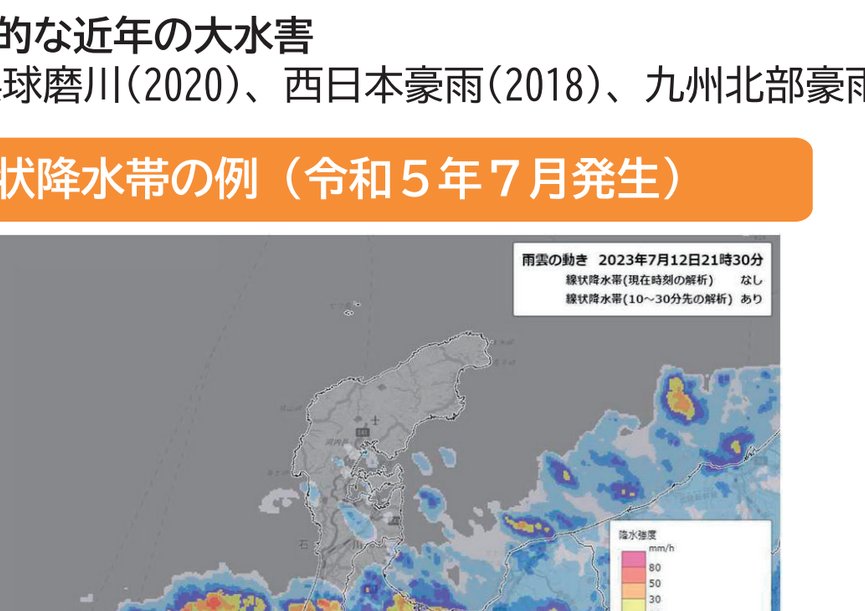
大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続いている状況を *「線状降水帯」* というキーワードを使って解説する情報です。
警戒レベル4相当以上 の状況で発表されます。

線状降水帯（せんじょうこうすいたい）

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、数時間にわたって *ほぼ同じ場所を通過または停滞する* ことで作り出される長さ50～300km程度、幅20～50km程度の *線状に伸びる強い降水域* を *線状降水帯* といいます。
線状降水帯による大雨の可能性 がある程度高いことが予想された場合に、*半日程度前* から、気象情報において「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけられます。
近年も大きな水害のたびに線状降水帯が発生しており、*災害に直結する* キーワードと言えます。

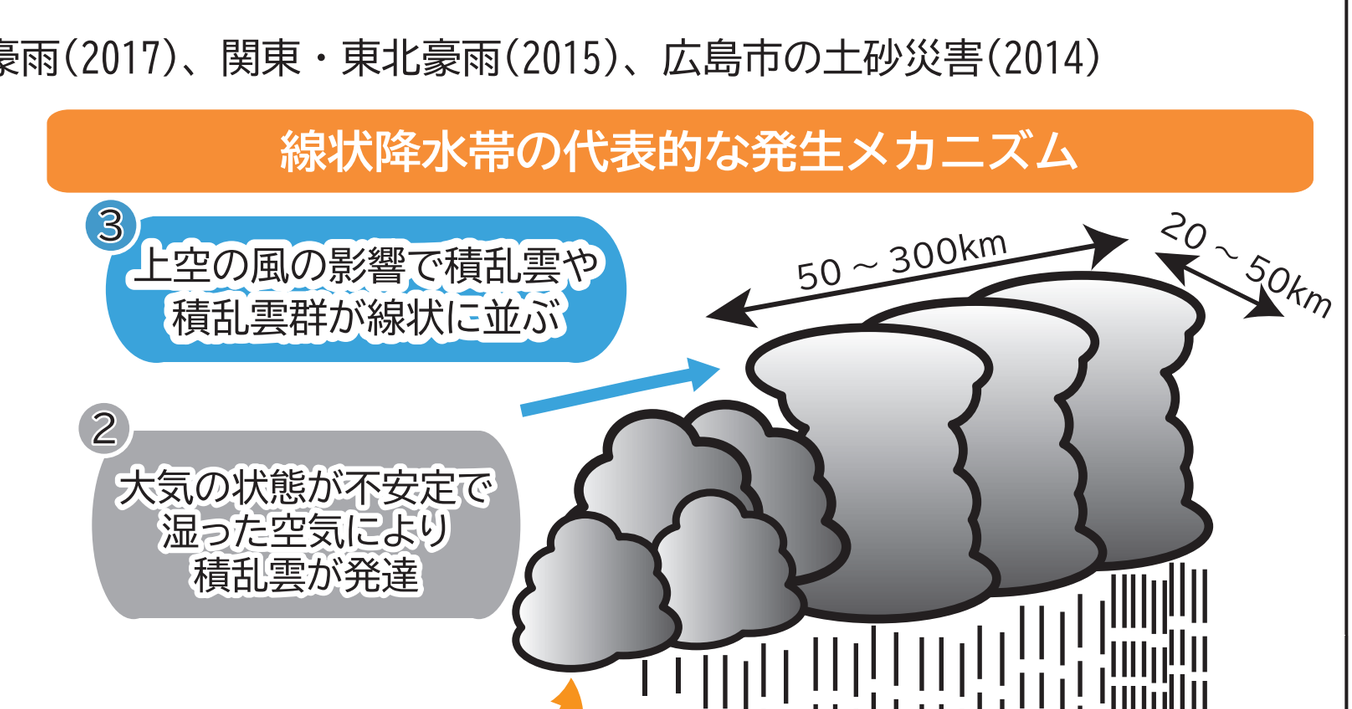
※代表的な近年の大水害
熊本県球磨川(2020)、西日本豪雨(2018)、九州北部豪雨(2017)、関東・東北豪雨(2015)、広島市の土砂災害(2014)

線状降水帯の例（令和5年7月発生）



出典：気象庁金沢地方気象台
令和5年7月12日から13日の大雨に関する石川県気象速報

線状降水帯の代表的な発生メカニズム



雨の強さと降り方

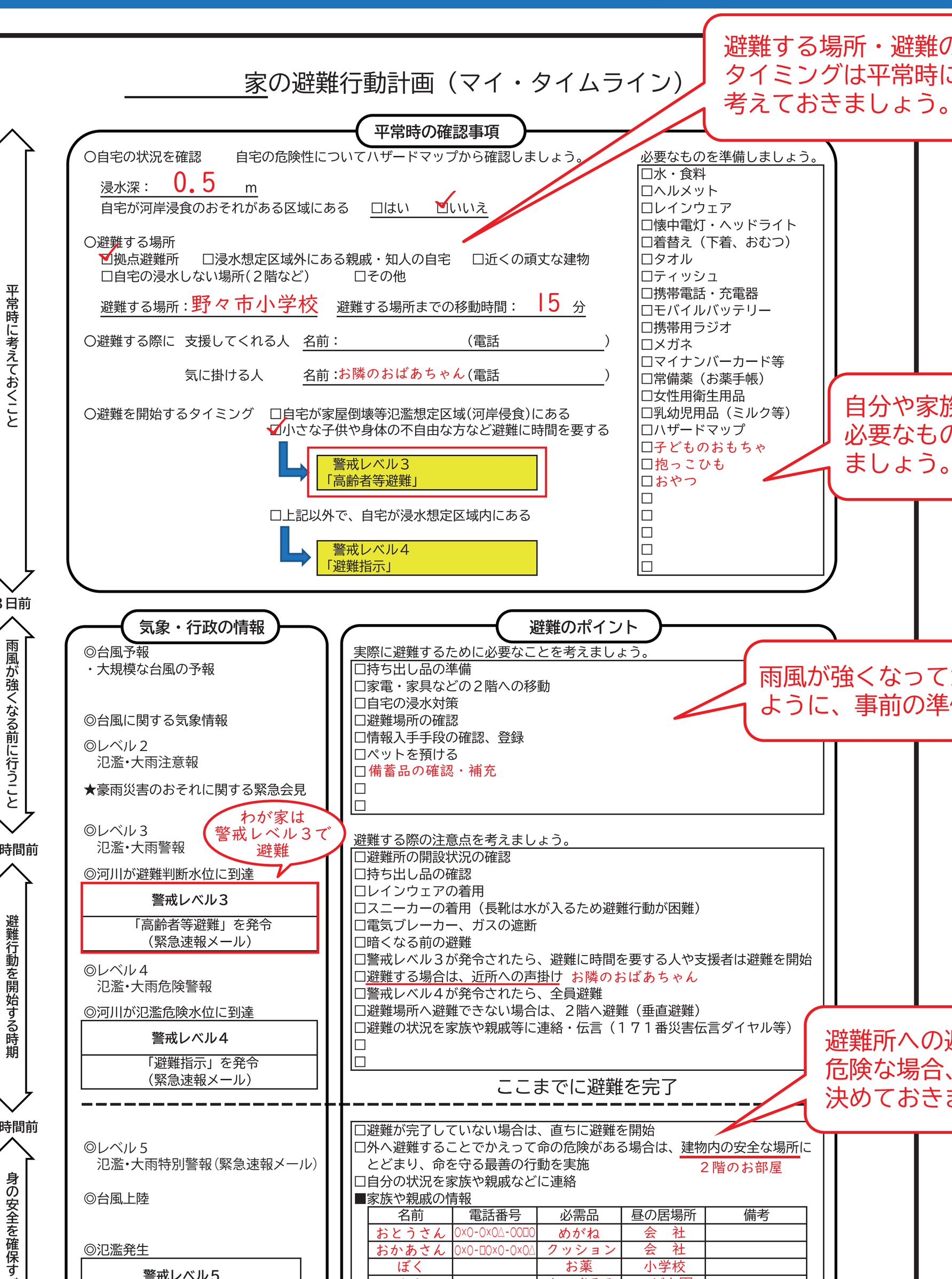


天気予報でよく聞く雨の強さ			災害発生につながるような雨の強さ	
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm以上の雨
ザーザーと降る雨 地面一面に水たまりができる	どしゃ降りの雨 傘をさしていても濡れてしまうほど	バケツをひっくり返したような雨 道路が川のようになる	ゴーゴーと降り続く雨 車の運転は危険	恐怖を感じるような雨 車の運転は危険
			2023年7月12日 74.5mm/時間（かほく） 石川県初線状降水帯発生	2022年8月4日 102.5mm/時間（白山河内） 小松市梯川氾濫

マイ・タイムラインをつくりましょう

- マイ・タイムラインとは、「いつ」、「何をするのか」を整理した個人の防災計画です。
- 自宅の水害リスクを知り、どのような避難行動が必要か、家族で考えてみましょう。

マイ・タイムラインの作成例



避難する場所・避難のタイミングは平常時に考えておきましょう。

自分や家族の状況に応じて必要なものを準備しておきましょう。

雨風が強くなってから慌てないように、事前の準備が重要です。

避難所への避難がかえって危険な場合、どうするかを決めておきましょう。

マイ・タイムライン作成様式

こちらから作成例で使用した様式をダウンロードできます。

野々市市 マイ・タイムライン 🔍

いざというとき、あわてずに避難できるように家族でマイ・タイムラインを作成しておきましょう。

避難情報等の入手方法

- 災害時に備えて、避難情報等の入手方法を確認しましょう。
- 登録等が必要なものは、登録を済ませ情報を受け取ることができるように準備しておきましょう。

情報の発信元	情報の入手先	市民のみなさん
気象情報（気象庁）、河川水位情報（国交省・県）	気象庁（防災情報）ホームページ キキクル	← 調べる
気象情報（気象庁）、河川水位情報（国交省・県）	TVデータ放送（dボタン）	← 調べる
気象情報（気象庁）、河川水位情報（国交省・県）	石川県防災ポータル・川の防災情報	← 調べる
避難情報（野々市市）	TV（緊急放送・文字放送）・ラジオ（えふえむ・エヌ・ワン）	← 調べる
避難情報（野々市市）	野々市市ホームページ	← 調べる
避難情報（野々市市）	緊急速報メール・広報車・防災行政無線	→ 届く
避難情報（野々市市）	ほっとHOTメールののいち・野々市市公式LINE	→ 届く
避難情報（野々市市）	結ネット・Yahoo!防災速報 アプリ	→ 届く

□：事前登録・ダウンロードが必要

情報の受け取り方

緊急速報メール
災害、避難情報等緊急度の高い情報を対象地域内の携帯電話に一斉配信するメールです。

ほっとHOTメールののいち
市からのお知らせや防災情報、交通・防犯情報等を配信する登録制メールです。
登録はこちらから
空メールの送信による登録手続きが可能です。
下記のメールアドレス宛へ空メールをお送り下さい。
nonoichi@entry.mail-dpt.jp

結ネット
スマートフォンやタブレットなどを用いて、地域の情報を無料で受け取ることができます。災害時には安否確認システムとしても機能します。

Yahoo!防災速報
地域の災害、避難情報等をアプリでお知らせします。
アプリのダウンロードはこちらから
https://emg.yahoo.co.jp/

広報車・防災行政無線
大雨や強風の際には、放送が聞き取りにくい場合があります。
防災行政無線の放送内容は、防災行政無線情報ダイヤル（076-246-1000）でも確認できます。

野々市市公式LINE
野々市市公式LINEにより市の最新情報を確認できます。
友だち追加はこちらから

情報の調べ方

石川県防災ポータル
県内の災害情報（自然災害・地震など）の情報を入手できます。
石川県防災ポータル 🔍
PC・スマートフォン：https://pref-ishikawa.eye-bousai-plus.com/PTLC0010/top?init

国土交通省 川の防災情報
河川の水位や河川カメラ画像などのリアルタイムの情報を入手できます。
川の防災情報 🔍
PC・スマートフォン：http://www.river.go.jp/

気象庁 キキクル
洪水災害、浸水害、土砂災害の危険度の高まりを確認できます。
キキクル 🔍
PC・スマートフォン：https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

テレビ・ラジオ
気象情報・避難情報はテレビ・ラジオで確認できます。災害時は76.3MHz（えふえむ・エヌ・ワン）で緊急放送が流れます。

安否情報の登録・確認
災害用伝言ダイヤル（171）：災害時に伝言の録音や再生ができます。171にダイヤル
災害用伝言板（web171）：災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。web171 🔍

どこに避難する？避難時の注意点

- *避難* とは *「難」* を *「避」* けること。普段からどう行動するか決めておきましょう。
- 避難には以下の4つの行動があります。いずれにしても *早めの行動* を心がけましょう。

1．指定の避難所への立退き避難

浸水が始まる前に、非常持ち出し袋を持って避難所へ避難しましょう。安全に通行できるか、事前に避難所までの避難経路を歩いて確認しておきましょう。

2．安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時の避難について相談しておきましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

3．安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要となります。事前に予約・確認しましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

4．屋内安全確保

ハザードマップで以下の *「3つの条件」* を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

❶ 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
❷ 浸水深より居室は高い
❸ 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分
※野々市市の浸水継続時間は1日程度と想定されています。

避難時の注意点

❶ 戸締りや火元・電気のブレーカーなどを確認しましょう。
❷ 一人ではなく、地域で助け合いながら避難しましょう。
❸ 溝やマンホールの穴に注意しましょう。
内水氾濫でマンホールのふたが浮き上がって外れている場合があります。
やむを得ず浸水した状況で避難する場合は、棒などで足元を確認しながら進みましょう。
❹ 雨や風の強いとき・夜間の避難は危険！早めに避難しましょう。
❺ 絶対に川や田んぼの様子を見に行ってはいけません。

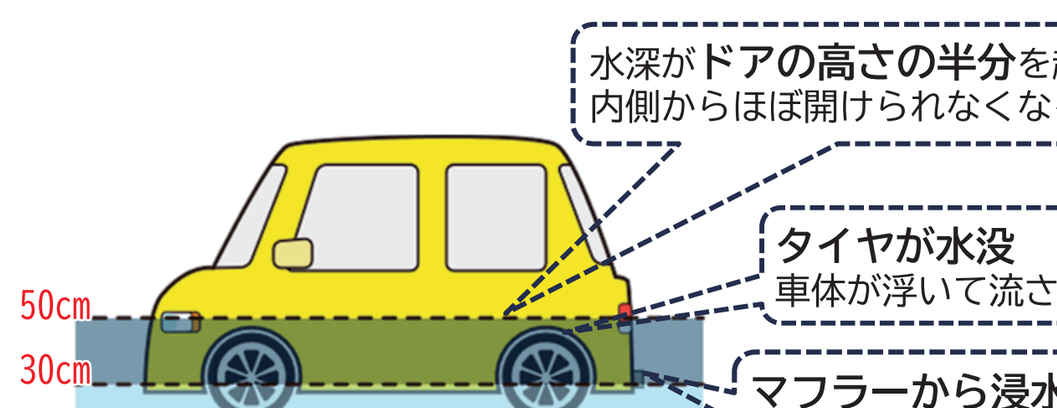
すでに浸水が始まっており、避難所等への移動がかえって危険な場合は、自宅や近くの頑丈な建物の2階以上に避難しましょう。

車避難の危険性

❶ 車での避難には様々な危険性があります！
・浸水しているアンダーパスで動けなくなる
・川沿いや田んぼ沿いの道路で転落する
・渋滞が発生し、避難に時間がかかる

やむを得ず車で避難する場合は、十分に余裕をもって浸水が始まる前に避難しましょう。

❷ 車が浸水するとどうなる？



※水深は目安であり、車種によって受ける影響は異なります。

❸ もしも冠水した道路で動けなくなったら…
緊急脱出用ハンマーを車に載せておきましょう。

❹ もしも車内に水が入ってきたら…
車内と車外の水位の差が小さくなってから、大きく息を吸い込み足などに力を込めて押し開け、一気に脱出を図りましょう。

参考：JAFホームページ

非常時に備える3ステップ まずは1次から。ついで0次、2次。

- 避難するときは *3日分* を目安に必要なものを *非常持ち出し袋* にまとめておきましょう。
- ライフラインが寸断する場合を考えて、7日分の食料や簡易トイレなどを備えておきましょう。

非常時に備える3ステップ

0次の備え 防災ポーチ
非常持ち出し品の中から、携帯できそうなものは、いつも使うバックやポケットに入れて身に着けておきましょう。

1次の備え 非常持ち出し袋
自宅や勤務先など、1日の多くを過ごす場所には、非常持ち出し袋を備えておきましょう。
玄関や寝室など、持ち出しやすい場所に置きましょう。

2次の備え 家庭の備蓄
非常時にライフラインが途絶えたとしても、数日間は自給自足でしのぐことができるように食糧や物品を前もって備えておきましょう。

減災グッズをそろえるときの心がけ

1 1年に2回はチェック
衣類など季節で変わる必需品を取り換えるために、**春と秋の年2回を目安にチェック**しましょう。

2 使い方を覚える・身につける
いざという時に初めて使うということがないように、準備した減災グッズは**実際に使ってみましょう。**

3 日用品の汎用性・工夫・知恵
新聞紙やラップ・ビニール袋など、日用品の中でも災害時に役立つものがあります。インターネット等で積極的に情報を入手しましょう。

4 「自助」に加えて、「共助」の備えも
地域の防災訓練に参加しましょう
我が家の備えだけでなく、町内会などで共同の備えがどこに・どのようにあるか確認しましょう。

避難時の服装

ひも付き運動靴をはきましょう
水が入って歩きにくくなるので長靴は避けましょう。

傘は使わない
レインウェアを着て両手が使えるようにしましょう。

棒・杖を持って足元を確認
水害時の水はにごっていて、足元が見えづらくなります。棒・杖を使って足元を確認しながら進みましょう。

自宅・車の浸水対策

ゴミ袋等を使った簡易水のう
2枚重ねにした45リットルのゴミ袋に水を入れて、袋の口をしっかり結べば「水のう」の出来上がり。ポリタンクやプランターもブルーシートで包んで、水のう、土のうの代わりとして使えます。

簡易水のう・止水板の設置
玄関などに簡易水のうや土のう、止水板を設置して水の侵入を防ぎます。

自宅のまわりは日頃からきれいに
自宅のまわりの側溝や雨水ますは詰まっていませんか？大雨の時にあふれやすくならないように日頃からきれいにしておきしょう。

車庫・ガレージの浸水対策
簡易水のうや土のう、止水板を設置して水が入らないようにする。

マフラーへの浸水防止
ビニール袋などで、マフラーの排気口をふさぐ。

浸水防止カバー
車を丸ごと包む浸水防止カバーに入れる。

備えを進める減災グッズチェックリスト

0 1 2（携帯 持出 備蓄）に記入の ○ は0、1、2次のどの備えとするべきかを検討した補足情報です。○を参考に、あなた自身、あなたの家庭、通勤・通学先の備えを検討しましょう。あなた自身にとって必要な数量、品目の3ステップを検討し、ご活用ください。

分類		品目	0 携帯	1 持出	2 備蓄	メモ
基本品目	バッグ	非常持ち出し袋		○		
	水	飲料水	○	○	○	0次：500mℓ、1次：一人1.5ℓ程度
	食	携帯食	○	○		チョコレート、キャンディー、栄養補給・調整食品など。
		非常食		○	○	乾パンなど、水・調理なしでそのまま食べれるもの。
	装備	ヘルメット・防災ずきん・帽子など		○		頭を保護して逃げるもの。
		ホイッスル	○			
		手袋（作業用）		○		革製など丈夫な素材のものを。
		運動靴		○		
		懐中電灯（予備電池・電源も）	○	○	○	0次はミニライト等携帯用。発電・充電式も参照。
	道具	万能ナイフ類		○		ハサミ、ナイフ、カンキリなどの複合ツールが便利。
		ロープ（10m）		○		救助、避難ばしごの代用。体重を支えられる太さ。
	情報	携帯ラジオ（予備電池も）	○	○		複合機能（ライト・携帯電話充電など）のものもある。0次は携帯性重視、1次・2次ではスピーカー付きが良い。
		携帯電話（充電器・バッテリも）	○			
		連絡メモ・備えリスト	○	○		
		身分証明書（そのコピー）	○	○		マイナンバーカード パスポート、外国人登録証など。
		筆記用具（メモ帳とペン）	○	○		
		油性マジック（太）		○		伝言を書く。
		現金（10円硬貨含む）	○	○	○	公衆電話用に10円、100円玉が必要。携帯・自宅電話がつながらない時。

分類		品目	0 携帯	1 持出	2 備蓄	メモ
基本品目	救急	救急用品セット	○	○		消毒薬、脱脂綿、ガーゼ、ばんそうこう、包帯、三角巾などケガの手当て用品をひとまとめに。救急袋。
		毛抜き		○	○	とげ抜き、ピンセットとして使える。
		持病薬・常備薬	○	○	○	合わせてお薬手帳・処方箋のコピーも。
	衛生	マスク	○	○	○	感染症対策として。防寒用としても重要。
		簡易トイレ	○	○	○	非常時において、トイレにいけないことはかなり深刻。
		ティッシュペーパー・トイレットペーパー	○	○	○	トイレットペーパーは汎用性が高い。
		ウェットティッシュ		○	○	水がない時、役に立つ。
	防寒	使い捨てカイロ	○	○		
		サバイバルブランケット		○		非常時の軽量簡易防寒具
	汎用	ハンカチ(大判)・手ぬぐい	○			
		タオル		○	○	汚れの拭き取り、ケガの手当て、下着の代用等、高い汎用度。
		安全ピン	○	○		タオルを留めて下着の代用として使うこともできる。
		ポリ袋	○	○	○	大小あわせて10枚程。汎用性が高い。
		ビニールシート類（レジャーシート・ブルーシート）		○	○	
		ライター（マッチでも）		○		暖房器具への点火などに。マッチよりも使い勝手が良い。
		布ガムテープ		○		多用途。屋外に伝言メモを貼るなど、利便性が高い。

分類		品目	0 携帯	1 持出	2 備蓄	メモ
個別に検討する品目	貴重品	予備鍵（家・車等）				
		予備メガネ・コンタクトレンズ				
		通帳・証書類のコピー				
		印鑑				
	女性	生理用品（おりものシート）				傷の手当て等、ガーゼの代用としても重宝する。
		防犯ブザー				
		くし・ブラシ・鏡				
		化粧品				
		髪の毛をくくるゴム				お風呂に入れない時、髪をまとめれば不快感が軽減される。
	高齢者	介護手帳				
		紙おむつ				
		介護用品				
		入れ歯				
		補聴器				
	乳幼児	粉ミルク・哺乳瓶・離乳食				
		清浄綿				
		バスタオル				
		紙おむつ				
		だっこ紐				
		母子手帳				
	障害者・外国人など	障害者手帳				
		助けを求める手段				ホイッスル、サイレン、など
		移動を助ける手段				杖、白いテープ、おんぶひも、など
		情報を得る手段				ラジオ、ワンセグ、拡大鏡、など
		コミュニケーションを助ける手段				筆記用具、レコーダー、コミュニケーションボード、など
		落ち着ける・安心できるもの				お気に入りのグッズ、など
		要援護者と確認できる外装				ゼッケン、ワッペン、など
	ペット	ペット用品				迷子札、など

分類		品目	0 携帯	1 持出	2 備蓄	メモ
備蓄する生活用品目	衣	衣類			○	季節・個々の状況により、必要な物、数量を判断。
		毛布			○	
		雨具（ポンチョ・雨合羽 など）	○	○		両手が使え作業しやすい。防寒着にもなる。
	食	保存食類		○	○	お米、乾・干物、豆、根菜類、乾パン、アルファ化米、切り餅、インスタント食品、缶詰類など。嗜好とも照らして。
		塩・調味料			○	
		食器類（皿・コップ・箸・フォーク・スプーン）			○	紙・ステンレスなど。
		ラップ			○	食器に巻いて用いると洗わずに済み、貴重な水の節約になる。汎用的。
		アルミホイル			○	
		缶切り			○	
		カセットコンロ・ボンベ			○	ボンベは1日1本目安。コンロ・ボンベの使用期限に注意。
		鍋			○	
	住	歯磨きセット・洗口剤			○	災害時の口くうケアは重要。
		石けん			○	
		ドライシャンプー			○	
		重曹			○	消臭スプレー、掃除用など、多用途に使える。
		ふろしき	○	○		何かを包む、敷いて防寒対策など汎用性が高い。
		予備電池(バッテリ)		○	○	
		工具類			○	ジャッキ、バール等。
	あると便利・汎用的	地図（避難用・帰宅支援用などの）			○	
		新聞紙・ダンボール		○	○	
		ローソク			○	電気がない、使えない時に長時間の灯りに。火事にはくれぐれも用心の上。
		非常用給水袋・タンク類			○	水を運ぶ。蓄える。
		キッチンペーパー			○	
		ホワイトボード			○	メモ掲示、情報伝達などに、紙や物資が不足する時にあれば便利。
		さらしの布			○	汎用度が高い。抱っこ紐代わりにも。
		スリッパ			○	避難所での上履きとして。
		蚊取り線香			○	夏場の避難生活が屋外となった場合に備えて。

参考：減災グッズチェックリスト（阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターHP）